

R 8 年度 学習の手引き (シラバス)

2	学年	教科・科目	家庭・家庭総合 (森・イ)	単位数	2	担当者	橋爪
---	----	-------	---------------	-----	---	-----	----

1, 教科書・副教材

家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)
 スーパーライブビュー家庭科 (東京書籍)
 家庭総合学習ノート(東京書籍)

2, 科目の目標

- ・自分の生活を見直し、よりよい環境やよりよい生活を築いていくためにどんなことをしたらよいかを考え、それを生活に生かせる力をつける。
- ・生活に必要な知識や技術を身につけ、生活者として自立できる力をつける。

3, 学習の計画

	月	学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲							
前 期	4月	1、超高齢社会を生きる ・高齢者を理解する ・高齢者の心身の特徴	・高齢者福祉の現状と問題点を知る。 ・高齢者の心身の特徴と生活について理解する。	35	既習範囲							
	5月					・これからの高齢社会						
	6月	2、共に生き、共に支える ・わたしたちの生活と福祉 ・共に生きる ・社会保障の考え方	・社会保障の仕組みを知る。			35	既習範囲					
	7月											
	8月	3、食生活をつくる ・食生活について考える ・食事と栄養・食品	・栄養素の種類と働きを知る。 ・健康と食のかかわりを知る。 ・調理に関する基礎的な知識や技術を習得する。					35	既習範囲			
	9月											
	10月									・食生活の安全と衛生 ・生涯の健康を見通した食事計画 ・これからの食生活	・現代の食生活の問題点を知り、充実した食生活を営むための知識や技術を習得する。 ・我が国の食糧事情の現状と問題点を知り、対策を考える。 ・家族や自分の食生活について栄養や健康と関わらせて考える。 ・調理実習及び実験	35
	11月	・食生活と文化 ・調理の基礎										
	12月											
後 期	1月	4、住生活をつくる ・住生活について考える ・住生活の計画と選択 ・住生活の文化 ・これからの住生活	・住居の機能を知り、健康で安全な住まいに関する基礎的な知識を習得する。	35	既習範囲							
	2月											
	3月											

4, 評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	基礎的・基本的な知識・技術を身につけることができたか	定期考査、授業プリント、提出物(作品・レポート・宿題など)などを総合的に判断する。
思考・判断・表現	内容から課題を見つけ、解決に向けて思考判断し、それを自分なりに表現することができたか	定期考査、授業プリント、提出物(作品・レポート・宿題など)、発表などを総合的に判断する。
主体的に学習に取り組む態度	内容に関心を持ち、主体的に取り組む姿勢が見られるか	提出物(作品・レポート・宿題など)、授業態度(出欠、授業・実習への取り組み)などを総合的に判断する。

5, 学習にあたっての注意とアドバイス

- (1)教科書、プリント、学習ノートを主として学習を進める。実習実験の際には身だしなみを整えて安全面、衛生面に気をつけて取り組む。
- (2)プリントや資料はファイルに整理して各自管理する。
- (3)実習への取り組みや出来栄からも学習内容の定着を評価する。
- (4)進度により内容を変更する場合もある。